



日本百名城「会津若松城（鶴ヶ城）」



会長あいさつ

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

会長 多田 計介



第99回全旅連全国大会の開催にあたり、皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

昨年から続いている新型コロナウイルス感染は幾度かの波を繰り返し、ワクチン接種により落ち着くかのように思えましたが、この原稿を書き記している段階でもデルタ株を中心とする第5波が猛威を振るっており、緊急事態宣言地域とまん延防止等重点措置地域を含めると東北と一部地域を除き全国的に広がっている状況であり、昨年の山口大会に引き続き、このような大会になりましたことを深くお詫び申し上げます。

こうした状況の下、本年6月からの私の3期目がスタートしました。引き続き舵取り役を任せられましたのは、世界中を席巻した新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中で、現状打破とコロナ後の宿泊業の未来が輝かしいものになるための道標を示すようにという皆様の想いだと深く受け止めております。もとより、これだけではありません。私たちに課せられた課題は山積しております。

今回のコロナの教訓として、生活衛生の面から食中毒や感染症について私たちは細心の注意を払い、予防や対策に努めて参りました。ただ、このような世界同時感染には私たちの危機管理が通用しないことを思い知らされました。

そこで今回、福島を開催地として選んだのは2011年3月11日の東日本大震災、津波、原発事故から10年が経過し、完全復興とまでは言えないまでも奇跡的な復興を遂げている福島を見ていたときだったからであります。私たちはこの大震災を風化させてはならないのです。そして、何よりも地域の人々が助け合いながら、「復興」という目標に向かって必死でやってこられたことを改めて知って欲しかったのです。あの忌まわしい大震災は、私たちの心を一つにしました。そして皆さんのご支援を得られて、ここまでできたということを見わると思っています。本大会の主催者の皆様、それを支えて欲しかったのですが、残念にもかねませんでした。しか

し、このコロナで弱りかけた私たちにとって福島の人たちの三重苦を跳ね除けた力が私たちの力の源となり、全国の自治体との連携協定へとつながりました。

そして、今、宿泊業界は歴史の中で大きな転換点にあると思います。そのためには、旅館業法の見直しや業界として社会的地位向上を目指す必要があります。皆様もご承知のとおり当連合会の定款の中に、「国際観光立国の推進に寄与する」という一文が加えられました。この意義は、長い歴史の中で私たちが他の産業と比較して決して高く評価されていかつたことを転換する好機となりました。そして、コロナ後もインバウンドは我が国の大いな基幹産業の一つとして成長発展していくことに間違いはなく、コロナ前よりも国はなお一層進行することと思います。今まで積み上げてきた地道な努力を引き続き進めて参りますので、皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いします。

また、コロナ後に再来る人手不足や生産性向上のためのDX化（デジタルトランスフォーメーションの略／ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること）の整備に取り組みます。さらに事業承継についても積極的に取り組んでまいります。そして、何よりも能力のある若い世代を全旅連の執行部も含めて、登用していかねばならないと思っています。そのためには、皆様のご理解とご協力が必要であります。引き続きご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いします。

最後になりましたが、福島の皆さんにはたくさん準備を無にしてしまい誠に申し訳ありません。私自身、断腸の思いであります。私たちは、皆さんの復興にかけた努力をこの目で見て勇気をもらいました。残念にもかねませんでしたが、皆さんの魂は今般の大会の参加者だけでなく全会員に伝わると思っています。本大会の主催者の皆様、それを支えていた

全旅連保険は

「万一の場合に宿泊・利用客に対して十分な補償をすると共に、旅館・ホテルの経済的な負担の軽減に寄与する」ことを目的としています

保険のご相談は

事故のお受付は

全旅連保険相談室 0120-087-484

(平日09:00~17:00)で承ります

東京海上日動安心110番 0120-119-228
(24時間365日)で承ります

全旅連保険代理店

全旅連事業サービス株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5
TEL 03-3263-4429 FAX 03-3263-0220